

## 令和7年6月22日の新燃岳噴火に関する知事コメント

- 昨日気象庁から発表があったとおり、新燃岳で2018年6月以来となる噴火が観測されました。
- 発表によれば、噴煙は火口から500メートル以上に達し、降灰もあったが、噴石の飛散は確認されておらず、昨日午後5時55分に連続噴火は停止した模様とのことです。降灰等の影響を受けた地域の皆様にお見舞申し上げます。
- 県では、昨年12月12日に新燃岳の噴火警戒レベルが2に引き上げられたことに伴い、情報連絡本部を設置し、継続して情報収集等を行っているところですが、今回の噴火に関して現時点では人命に関わる被害等の報告はなく、また、噴火警戒レベルについても変更はされておられません。
- しかし、新燃岳は活火山であり、元々いつ噴火してもおかしくない状況にあります。火山性地震も増加しており、今後、さらなる噴火が発生する可能性も考えられることから、県としても関係機関と連携し、引き続き火山活動を注視してまいります。
- 県民の皆様におかれましては、今回の噴火をきっかけに、新燃岳を含む霧島山が活火山であることを再認識していただき、気象庁HPに掲載されている噴火警戒レベルに応じた立入規制の範囲を御確認いただくとともに、地元自治体から発表される情報にも注意してください。
- また、例年梅雨が明ける7月以降は登山者が多くなる時期ですが、登山を行う場合は、県や気象庁のHPに掲載している、道路や登山道の規制状況及び火山の活動状況を必ず確認していただき、登山中に少しでも異変を感じた場合は直ちに下山するなど、自分の命を守るための行動をお願いします。

令和7年6月23日

宮崎県知事 河野 俊嗣